

人口	男	3,432人 (+12)
	女	3,698人 (-4)
	計	7,130人 (+8)
世帯数		1,843 (+3)
( )は5月1日との比較		

平成 7 年 6 月 14 日  
発行 新潟県三島郡三島町役場  
電話 (0258) (代) 42-2221  
印刷 長岡市 あかつき印刷



みこしをかついで  
みんなで参加



町では大人用みこしの「担ぐ人」をグループ、団体単位で募集しています。早目に産業課迄申し出お願いいたします。

合併40周年を迎え、三島まつりを一層盛り上げようと、大小2種類の大きさのみこし製作が進んでいます。  
台座寸法二尺(約60センチ)の大人用みこしは屋根の軒下開口が開いている「破風型屋根」と呼ばれる形となります。天頂には、手打ちの鳳凰ほうおうが飾られ、

総重量は約180キロ。台座寸法尺三寸(約40センチ)の小型みこしは、軒下がまっすぐになっている「延屋根」。重さは約40キロで、子ども用のみこしです。  
これらのみこしは、関東型の「けんかみこし」といわれるもので、ケヤキやマツなど、固い木材を使い、担ぎ手がいくらかみあってもビクともしないよう、柱が組み立てられます。非常に頑丈なつくりで、長年の使用に耐えるものです。  
町内仏壇製造会社の職人さんが丹精込めて造る「みこし」は7月上旬には出来上がり、8月16日の出番を待っています。

町の発展  
期待をこめて  
三島まつり「みこし」製作が進行中



現在の風景

リーダー基地が無かった  
ころの小木城山頂

昭和30年4月23日撮影  
写真提供 尾竹金司さん(吉崎)

編集後記

▼「先日は大変楽しいひとときを過ごさせていただきました。ありがとうございます。普段は家中と会社の中で「コチコチ」と動く程度で、ハイキングのように歩くという事は、めったにありません。久しぶりにすがすがしい空気を吸いながら一生懸命歩いたという満足感を味わいました。……(中略)……参加者がお年寄りから幼児まで、幅広くおられたことがほのぼのとして良かったと思います。先月14日、「新緑の西山ふれあいハイキング」(本紙7ページに掲載)に参加された匿名希望の方から、このような手紙が届きました。主催した「ふるさと塾」のメンバーは大変喜んでいました。ふるさと塾では、今後とも老若男女が楽しめるイベントを計画しています。▼町のあちこちに春先植えた花々が咲き始め、私たちの目を楽しませてくれています。与板町方面から町への入口にあたる宮沢バス停脇の町有地には、関根千恵さん(藤川)が育てているナアシコ、ヒナギク、ハナビシソウなどが咲いています。「バス停に来る人やジョギングで通る人に「きれいですね」といってもらえるのがうれしい」という関根さん、町の美化とイメージアップに一役買っております。



リサイクルを進めましょう。広報みしまは森林資源保護のため再生紙を使用しています。





# もうひとつの記念事業 PRビデオの収録始まる

町では、合併40周年記念事業のひとつとして「町PRビデオ」を委託制作します。その録画撮影が、今回の「西山連峰登山マラソン大会」から、本格的に始まりました。

委託先は新潟放送株(略称BSN・新潟市)で、プロカメラマンが、町民体育祭や三島まつり、合併40周年記念イベント(11月3日~5日)や、町の美しい自然、風土、産業、人々の暮らしなどを、インタビューを混じえて収録します。

収録したビデオは、30分に編集され、町のPRに利用します。



10時ピストルの号砲が鳴り、一斉スタート。今年新設した3キロコース「夫婦・親子ペア」の部では33組66人が出場し、息の合った「走り」を見せました



一般の町民も多数詰め掛けたアトラクションの県警音楽会。3000を超える県警音楽隊のレパトリーから、テレビでお馴染みの時代劇メドレーや洋曲など10曲余りが演奏されました。

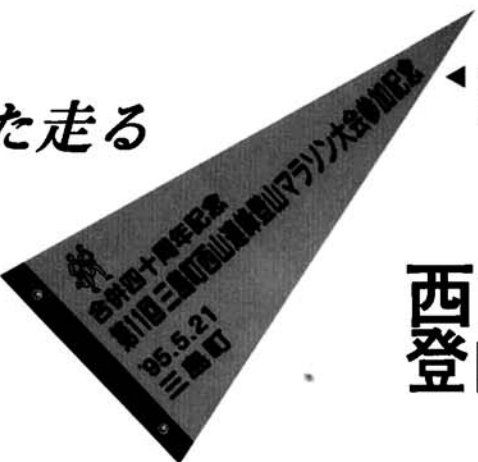


## 健脚自慢が 三島路をひた走る

第11回  
合併40周年記念

合併40周年を迎えた今年の参加ランナーに、町では記念ペナントを贈りました。

# 西山連峰 登山マラソン大会



### 風

薫る中を健脚自慢が駆け抜ける「西山連峰登山マラソン大会」が先月21日、行われました。時折小雨の降るいまひとつの天候でしたが、小学生から88歳のお年寄りまで、町内外から約500人の選手が参加。11回目の開催となる今回、仙山城(城主瓜生保は三島郡瓜生村出身)のある福井県南条町からも11名が参加しました。

### レ

イスは、午前10時ピストルの合図でスタート。参加選手は、思い思いのペースで3キロ、11キロ、20キロのコースに分かれ、健脚を競いました。途中、沿道から「ガンバ」「ファイト」という熱い声援が飛び交う中、参加者全員が無事ゴールしました。

### 合

併40周年の今年、体育館ステージではその記念アトラクションとして、新潟県警察音楽隊の音楽会が行われました。「時代劇メドレー」「イエスタデイ」など、3千を超えるレパトリーの中からテレビでお馴染みの曲や洋楽、10曲余りが演奏され、力走を終えた選手、一般町民ら1千人を超える聴衆は、新緑に響く音色を堪能していました。

### 大

会運営に際しては、100人を超える役員の皆様とコース沿線の各大字からご協力いただきました。選手から好評だった町特産品の参加賞は、協賛各事業所からご協力いただきました。紙面にて厚くお礼申し上げます。

## 大会の主な成績

- ★20kmコース★
  - (一般男子) 1位 桜井 誠(長岡市) 5位 青柳 史成(三島町)
  - (一般女子) 1位 高田 知美(長岡市) 1位 根立 雅明(新潟市)
  - (40歳代男子) 1位 斎藤 悦子(新潟市)
  - (50歳代男子) 1位 北村 泰一(神奈川県)
  - (60歳以上代男子) 1位 田丸 雄三(埼玉県)
- ★11kmコース★
  - (一般男子) 1位 山口 泰明(長岡市)
  - (一般女子) 1位 片桐麻美子(長岡市)
  - (40歳代男子) 1位 下浜 岩男(福井県)
  - (40歳以上女子) 1位 横坂美智子(与板町)
  - (50歳代男子) 1位 須田・八郎(長岡市)
  - (60歳以上代男子) 1位 五十嵐 成(新潟市)
- ★3kmコース★
  - (夫婦・親子ペア) 1位 西脇 哲男(越路町)
  - (中学生男子) 1位 浅野 友彦(栄町)
  - 3位 山田 隆志(三島町)
  - (小学生男子) 1位 若月 寛俊(埼玉県)
  - (小学生女子) 1位 吉原 望美(白根市)
  - 2位 青柳 郁江(三島町)



# 世界に誇れる逸品と評価 脇野町鋸

私たちの町の伝統的地場産業「脇野町鋸」。150年にわたり積み重ねられた精進と鍛錬が生み出す手引鋸は「昔ながらの本鋸」とされ、全国のプロ大工、木工芸職人の間で根強い愛用者がいます。電動式鋸が多用される当節、生涯使えるホンモノの「脇野町鋸」が世界に誇れる逸品と評価されました。



切れ味の決め手、ヒズミ取りの作業をする「中屋幸四郎」こと、榊沢幸雄さん（脇野町）。京都在住の数寄屋大工が中屋幸四郎作の手引鋸を、生涯使える本鋸として推せんしたことにより、週刊ポスト紙面に登場しました。



鋸の刃を一目ごと反らせる「アサリ付け」。この反りで、滑らかな切れ味が生まれます。

全国で85万部発行される「週刊ポスト」誌では、長年培われた優れた加工技術による秀逸な品々を「世界のロングセラー」として、シリーズで紹介しています。このほど、このシリーズで、脇野町鋸が取り上げられました。

## 生涯使うことができる

### 脇野町鋸

鋸製造が機械化され、現在市販されている鋸の大部分は、自動機械によって量産される安い替刃式鋸です。手作り鋸は急速に減少しています。替刃式鋸は、比較的硬度の低い材料を使い、刃の外周だけ高周波インパルスによる衝撃焼き入れでカチカチに硬化させてあります。ですから、目立てができず、目立てができたとしても目立て料金のほうが高くつき、切れなくなったら捨てられてしまうのが実情です。

これに対し、原形がわからなくなるほど目立てを繰り返す、最後まで使われる本物が脇野町鋸。力を入れずに軽く切れるのも特徴です。切れ味の決め手となるのは、徹底したヒズミ取り、それとアサリの振り加減にあります。どちらも鍛え抜いた鍛冶職人の指先のカンと視力が頼りの仕事です。

ヒズミ取りとは、圧延加工して鍛造した鋼板を刃槌で丹念に叩く作業。およそ1ミリメートルという厚さに比べ表面積の大きい鋸は、少しでも凹凸が残っていると、真つすぐに引けません。一寸（約3センチ）当たり30目という目の細かい鋸の刃に、一目一目ヤスリを振るアサリ振りは、鋸製造機が導入されて便利になったとはいえ、昔も今も、職人の手作業であることには、まったく変わりません。

脇野町鋸には、これら修練された職人技が、150年にわたり受け継がれ、息づいているのです。



中屋庄兵衛の開業以来、町内では鋸冶業を志す多くの若者が修行しました。写真は昭和18年ころ撮影されたもの。提供：東 吉光さん（吉崎）

## 全国四大産地とされた脇野町

ここで、脇野町鋸の歴史をひもひもと追ってみましょう。脇野町（現在の大字脇野町）の小川伝蔵の次男として文政元年（1818年）に生まれた中屋庄兵衛は、12歳のとき単身会津におもむき、鋸鍛冶中屋重左衛門の弟子入りをしました。

入弟以来5年、技術の練磨と精進を重ねて下中知名の人物となつて、天保13年（1842年）郷里脇野町に帰り、小川家から分家し鋸冶屋を開業しました。

この中屋庄兵衛が、「脇野町鋸」



吉崎地内に建つ中屋庄兵衛の石碑。

の生みの親となつたばかりでなく、本県における「鋸製造の元祖中屋庄兵衛」として後世に名を残すことになりました。

大正12年、その遺徳をしのんで顕碑を建立し、昭和4年には「敬師講」を結成、毎年10月15日に慰霊祭を行うこととし、今日もなお続いています。

その後、数多くの弟子たちによってその技術が伝えられていますが、現在県下のほとんどの手引鋸の商標に「中屋」と冠されているのも、この中屋庄兵衛の系統を継いでいるからとされています。

「脇野町鋸」の名前は、明治22年に上野で開かれた博覧会への出展、入賞がきっかけとなって全国的に広まるところとなり、昭和40年代半ばまで本県の三条、長野の茅野、兵庫の三木とともに全国四大産地に数えられ、職人用手引鋸として隆盛をきわめました。

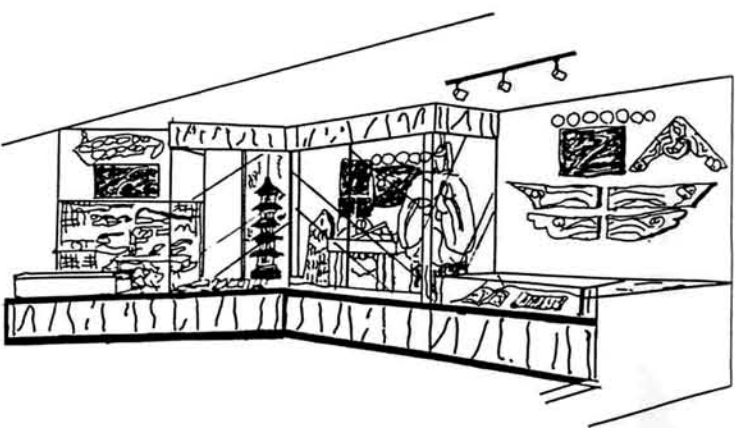
## 町の誇り、歴史遺産の鋸を郷土資料館でも展示

私たちが住む三島町は、縄文の昔から現在に至るまで、「自然」をひとつの軸として、さまざまな時代が通り過ぎ、そこにさまざまな暮らしが営まれてきました。

その過程で鋸の元祖、中屋庄兵衛が登場し、その存在やあり方が、約150年もの間、三島町を鋸の名産地とさせ、その名を全国に広めました。県内発祥地として、近隣市町村の産業にも影響を与えてきました。あわせて、大工道具が生産される要因に林業があり、卓越した技術を持つ宮大工もいました。

本年度、みしま中央会館2階に整備される郷土資料館は、現在の三島町を形成している自然要素を「木」に、人的要素を「宮大工や鋸冶の匠」とし、両者をあわせて「木と道具と匠たち」という基本テーマで展示プランが構成されています。

豊かな自然を背景にいろいろの木々があり、それらを日々の生活に生かす道具として生まれた鋸。木のぬくもりを好んだ日本人は、切り口により美しい木目を求めて、



鋸の改良を進めてきました。石器時代から始まる道具の歴史で、鋸は実に約千三百年を経て、現在の用と美を創りあげたのです。

その中において、三島町に中屋庄兵衛が生まれ、以後、数ある鋸の中でも、世界に誇れる品質とされる脇野町鋸ができるまでの道程をいろいろな角度から紹介します。脇野町鋸の移り変わりの中にある自然をうやまい、理解し、ともに生きてきた「鍛冶職人」の精神を、「三島町が誇る顔」として広く周知し、次代に伝えていこうというのが郷土資料館です。今秋、11月3日の開館を目指し、まもなく工事が始まります。





歩っ・ぽっ・ポツとマラソンロードを歩キング

## 新緑の西山ふれあいハイキング

新緑がまぶしい5月14日、ふるさと塾主催の「西山ハイキング」が行われ、14組の親子連れらが、自然の恵みを満喫しました。

時折、野鳥のさえずりが聞こえる中、ハイキングは、蓮花寺七社宮を九時半に出発。色あざやかな新緑やツツジ、ハナミズキの花々などを見やりながら「西山連峰マラソンロード」を散策しました。折り返し地の小木の城山頂では、ふるさと塾生のふるまうパーベキューや焼そばに舌鼓を打ったり、隠された宝（お菓子引換券）を捜し当てるゲームをしたり、春の一日を楽しみました。

ハイキングコースとなった西山連峰マラソンロードは、昨年改良工事が終わり、全線が舗装道路となりました。途中3か所に展望台が設けられ、風光明媚な景色も楽しめます。

車社会にいきる現代人は、歩くことから遠のきがちです。みなさんも新鮮な空気を吸いながら、マラソンロードを歩いてみませんか。



### ふるさと塾とは？

せっかく三島町に住んでいるんだから、何か楽しいことをしようよ。と集まったのが、「ふるさと塾」の青年たちです。イベントの企画、定期的な会合、他市町村との交流事業などを行っています。ただいま塾生募集中！（事務局企画調整課）

まちのゲンキはひとの元気—ふるさと塾通信



### 夜道も安心 中条線に防犯灯を取付

中条線（北部平場14号線）に20ワットの防犯灯10基が取り付けられました。

国道403号線（長岡寺泊線）から中条、脇野町、吉崎に通じるこの道は、夜間も車の通行が多く、中条と新保、大野地区と町が費用を負担し取り付けました。

犯罪のない明るい町づくりを進めるため、防犯灯の整備を進めており、今年度も各集落の要望箇所に順次取り付けのほか、市街化区域の街路灯取替工事を行います。



### 鳥越農村公園が完成

世帯数、人口が増加している鳥越の集落開発センター脇に新しく農村公園が完成しました。

鳥越農村公園は、町が国の補助を受けて整備したもので、広さ約1万3千平方メートル。2連・腰掛の2種類のブランコや大型滑台、シーソーなどの遊具が備えられています。公園の隣接地には、集落で整備したゲートボール場も同時に完工し、子どもからお年寄りまでが楽しめる憩いの場が完成しました。



### 県政について意見交換 知事とのさわやかトーク

県政に県民の意見を生かそうと6月6日、寺泊町体育館で「さわやかトーク」が開催されました。

今回は三島郡と見附市、中之島町が対象。三島町からも55人が参加し、平山県知事ほか県の各部長などが出席し、高齢者対策を中心とした福祉や農業の後継者問題など、地域が抱える課題について、意見や質疑が寄せられました。

### ふるさとがあるっていいですね 首都圏みしま会総会

当町出身で、東京地区やその近郊に住んでいる方々で結成している「首都圏みしま会」の総会が、今月4日、都内上野精養軒で開かれました。

発足から4回目を迎えた総会は、会員と一般町民併せて約50人が参加。昨年度の決算と今年度予算が承認され、懇親会に入りました。

懇親会では、お互いの近況や昔話に花が咲き、終始和やかな雰囲気の中で、笑い声や三島弁が会場に響いていました。





### お知らせ

照会は電話で

三島町役場	42-2221(代)
ガス企業団	42-2671
水道企業団	72-2259
消防斉場組合	72-2572

火事・救急 119

### ごみ収集についてのお願い

●農機具は収集しません  
ごみ収集場所に農機具や農業用ビニールシート、バッテリー、古タイヤ、消火器等が出てくるのが見受けられます。これらのものは町では収集していませんので、業者に引き取ってもらってください。

●ごみの区分の名称を変更しました  
ごみの区分で「燃えるごみ」を「燃やすごみ」に、「燃やさないごみ」を「燃やさないごみ」に変更しました。

●黒いごみ袋は使用しないでください  
ごみ収集処理作業での爆発・火災・切傷等の事故防止と分別収集の徹底を図るため、中身が見えない黒い袋や段ボール等にごみを入れて出さないようご協力ををお願いします。

力ください。

ごみは、ポリ製の買ひ物袋か、透明・半透明の市販の袋に入れて出してください。

◎問い合わせは、住民課保健衛生係内線243へ。

### 6月は土砂災害防止月間です

がけ崩れや地すべり等の土砂災害(土石流・地すべり・がけ崩れ)は、一瞬のうちに尊い命や貴重な財産を奪ってしまいます。

●雨が長く降り続くときや大雨のとき  
●川の水、井戸水、湧水の量が増えたり、濁り出したとき  
●土地に亀裂が生じたとき  
などは非常に危険です。「あぶない」と思ったら、まず避難をしましょう。日ごろから家の近くの山、がけ、川などをよく点検しいつもと違う点、

◎役場建設課 ☎42-2222 内線215



車道 鉄道 歩道 鉄板や角材

### 投票は民主政治の第一歩!

## 三島町議会議員一般選挙 8月6日(日) 投票日

午前7時から午後6時まで

三島町議会議員は、平成7年8月31日で、任期満了となりますので、新たに18名の議員を選挙が行われます。任期は平成7年9月1日から平成11年8月31日までの4年間です。

皆さんの暮らしに直結する選挙です。皆さんのより良い暮らしのために、家族そろって、投票に行きましょう。

☆告示日 8月1日(火)

☆選挙人名簿の登録 平成7年7月31日現在において、引き続き3か月以上三島町に居住している20歳以上の人は、登録資格があります。(転入の場合、平成7年4月30日までに転入届を出された人)

☆選挙人名簿縦覧期間 8月1日(火)～2日(水)

◎立候補予定者説明会 開催日時 平成7年6月30日(金) 午後1時30分から

説明会場 三島町役場 3階 大会議室

### 健やかな成長を願って 児童手当

児童手当は、国、県、町と事業主が費用を持ちあい児童を養育する人に児童手当を支給することにより、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目的としています。

児童手当を受給できる人

3歳未満の児童を養育している方で、前年(1月から5月までの月分については前々年)の収入が一定の額未満の場合に受けられます。

### 支給月額

1人目、2人目の児童についてはそれぞれ5千円、3人目以降の児童については、1人につき1万円が支給されます。

なお、手当の支給月は6月・10月・2月となります。

◎手当の請求は役場福祉課児童福祉係へ

### 6月は児童手当 現況届の提出月です

受給者は、毎年6月中に児童の養育状況などを確認するため、現況届を提出することになって

### 国民年金コーナー



申請、問い合わせは福祉課へ

現在受給中の方には係より個人あてに案内を出しましたので、忘れずに提出してください。なお、平成7年1月1日以後転入された方は、旧住所地の市町村役場より、平成7年度所得証明書(児童手当用)を添付してください。

届を出さないと手当を受けられない場合があります。

納めて受けよう国民年金

### 過年度の未納保険料は早めに納めましょう

平成6年4月から平成7年3月分までの保険料を納め忘れた方は、早めに納めて下さい。

未納保険料は、2年を経過すると時効となり納めることができなくなります。納め忘れが多くなると年金を受けられなくなることもありますので、社会保険事務所から郵送された納付書により納めてください。

なお、2か月以上の未納期間がある方は1か月分ずつ分割納

### 年金手帳は大切に

年金手帳は一生を通じて変わらない記号番号や加入状況記録が記入されていますので大切に保管してください。万一紛失された場合、再交付いたします。記載事項に変更が生じた場合は、手続きが必要となります。例えば国民年金から厚生年金に変わったときは、勤務する事業所へ、また、厚生年金から国民年金に変わったときは、役場福祉課国民年金係まで手帳を提出してください。

### 航空防除実施のお願い

三島町と長岡地域農業共済組合では、今年もヘリコプターによる水田の病害虫防除を行います。今年の予定は7月21日(金)と8月3日(休)の2回で、時間は日の出から午前9時まで。通学・通勤時間の7時から8時10分までは実施しません。

皆さんには大変ご迷惑をおか

けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

使用農薬は、低毒性普通物といわれるもので液剤少量散布ですし、農薬が水田以外に飛散しないよう一部地区では小型ラジコン・ヘリコプターによる防除を実施するなど、一層配慮いたしますが、気を付けるに超したことはありませんので、

●散布中の区域に入らない。

●自動車や干し物など、シミが付くと困るようなものを区域の近くに置かない。

などのご注意をお願いします。

ワンバクネイチャールランド 13 IN 志賀

- ▼期日 8月8日(火) 8月10日(木)2泊3日
- ▼場所 志賀高原(一の瀬)
- ▼内容 交流会、キャンプファイヤー、自然教室など。
- ▼対象 長岡圏域13市町村の小・中・高4～6年生。ただし、事前説明会(7月16日、午後1時30分、長岡市厚生会館)に参加できる人
- ▼申込締切 6月23日(金)
- ▼定員 150名
- ▼参加費 1万5,000円
- ◎問い合わせは、長岡地域広域行政組合 ☎37-6067へ。

### 家族そろって参加しましょう

## 町民体育祭

7月16日(日)  
協野町小学校グラウンド

今年の町民体育祭開催日は、7月23日参議院選挙が実施される予定ですので、16日に変更となりました。





# 広報カレンダー

6/15	木	胃がん検診 8:00~10:00 上条公民館 リハビリ 13:00~ みしま園
16	金	胃がん検診 8:00~10:00 下河根川センター ふるさと講座 19:30~ みしま交流センター 三島南部地区県営ほ場整備事業起工式 12:00~ みしま中央会館
17	土	
18	日	第33回新潟県身体障害者体育大会第6地区大会 9:50~ 北越銀行体育館 県スポーツフェスティバル中越地区大会〈ソフトバレーボール〉 8:30 三島中体育館
19	月	胃がん検診 8:00~10:00 瓜生集落センター 胃がん検診 8:00~10:00 新保集落センター
20	火	胃がん検診 8:00~10:00 蓮花寺集落センター 心配ごと相談 13:30~ 役場相談室 女性セミナー〈夜〉 20:00~ 保健センター
21	水	胃がん検診 8:00~10:00 七日市公民館 芸術セミナー〈水彩画〉 19:30~ 町体育館
22	木	リハビリ 13:00~ みしま園
23	金	女性セミナー〈昼〉 13:30~ みしま交流センター
24	土	三古青年指導者研修会 ~25日 飛騨高山方面
25	日	県青年大会中越地区予選会 8:30~ 小千谷市
26	月	保健委員研修 9:30~ 保健センター
27	火	心配ごと相談 13:30~ 役場相談室
28	水	貿易記念日
29	木	胃がん検診 8:00~10:00 南部保育所 胃がん検診 8:00~10:00 みしま交流センター
30	金	ふるさと講座 19:30~ みしま交流センター
7/1	土	
2	日	
3	月	子宮がん・乳がん検診 9:30~10:30 保健センター
4	火	心配ごと相談 13:30~ 役場相談室
5	水	
6	木	リハビリ 13:00~ みしま園
7	金	子宮がん・乳がん検診 9:30~10:30 鳥越集落センター 子宮がん・乳がん検診 13:30~14:30 みしま交流センター 女性セミナー〈昼〉 8:30~ 上越方面
8	土	
9	日	三古連合消防演習 8:35~ 寺泊町
10	月	
11	火	ふるさと講座 19:30~ みしま交流センター 高齢者リハビリ 9:30~ 保健センター 心配ごと相談 13:30~ 役場相談室
12	水	子宮がん・乳がん検診 9:30~10:30 三島中部農協本部
13	木	リハビリ 13:00~ みしま園
14	金	
7/16 町民体育祭 8:30~ 脇小グラウンド 7/21 水稲航空防除 早朝		

## 96長岡地区 大卒就職ゼミナール

▼日時 7月5日(木)、午後1時30分(受付は午後1時から行います)

▼場所 ハイブ長岡(長岡市寺島315) 1階 大展示ホール

▼対象者 大卒・短大・高専・専修学校生(平成8年3月卒業予定者)

▼参加企業 長岡地区の優良企業約60社

▼内容 参加企業ごとに相談コーナーを設け、個別面談の実施、ハローワーク職員との就職相談

## 第5回町民親善 ゴルフ大会 参加者募集

◎問い合わせは、ハローワーク長岡(長岡公共職業安定所 ☎3211181)へ。

▼参加資格 三島町に在住又は、出身者及び三島町に勤務している方

▼場所 新潟スプリングカントリー倶楽部出雲崎コース

▼期日 7月27日(木)

▼参加数 120名(定員になり次第締め切ります)

▼申込方法 申込書に氏名、生

年月日、ハンデキャップを明記し、お申し込みください。

▼申込先  
みしまグリーンクラブ  
G・E・C  
下河根川グリーンクラブ  
イーグル新保  
野崎 二次男宅(脇野町)  
樺沢 剛一宅(脇野町)  
風間 勝和喜宅(脇野町)  
熊木 加代子宅(脇野町)

▼申込締切 6月末日

◎問い合わせは、みしまグリーンクラブ(脇野町・高橋浩宅 ☎4212602)へ。

## 保健行事のおしらせ



対象	内容	日時	会場
H 5.11 ~ 6.1 月 出生児	1才6か月児健診	7月5日(木)受付 13:30~13:45	保健センター
H 6.5 ~ 6.6 月 出生児	お誕生菌科	7月5日(木)受付 13:15~13:30	
H 6.12 ~ 7.2 月 出生児	乳児健診	6月28日(木)受付 13:15~13:45	
H 6.9 ~ 6.10 月 出生児	乳児相談(9~10か月)	7月14日(金)受付 9:00~9:30	
H 7.3 ~ 7.4 月 出生児	乳児相談(3~4か月)	6月20日(火)受付 13:45~14:30	
H 2.4 ~ 3.3 月 出生児	予防接種 日本脳炎 1期追加		
H 3.4 ~ 4.3 月 出生児	予防接種 日本脳炎 1期初回②	6月27日(火)受付 13:45~14:30	
H 4.10 ~ 5.7 月 出生児	予防接種 三種混合 1期初回③	6月22日(木)受付 13:45~14:30	

## 交通安全活動推進委員に 小方保さん(鳥越)

鳥越の小方保さんが、県公安委員会より「交通安全活動推進委員」に委嘱されました。(4月1日付)

四月から与板警察署管内で、●道路における適正な車両の駐車及び道路の使用の方法について、町民の皆さんから理解していただくこと。

●地域における交通安全についての広報、啓発をすること。などについて、ボランティア活動をしていたことになりました。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

## 中国帰国者の 身元引受人募集

厚生省では、日本に永住帰国する中国残留邦人(中国残留孤児及び中国残留婦人等)とその家族の身元を在日親族に代わって引き受け、帰国後の定着自立に必要な相談・助言を行っていただく身元引受人を募集しています。一人でも多くの方から身元引受人に募集していただけますようお願い申し上げます。

▼資格 特別事情残留邦人(身元未判明孤児及び近親の在日親族がいない等の特別の事情により帰国できない中国残留邦人)世帯構成員及び肉親の置かれてある立場の違いを理解し、特別事情残留邦人世帯が帰国した場合、日本社会に早期に定着するための指導に熱意をもってあたることのできる人。

▼身元引受人期間 中国帰国者定

## 50年の歩み展 写真募集

戦後50周年を記念して開催する「50年の歩み展」に展示する写真を募集します。

▼テーマ 県内の人々の暮らしと産業、文化の移り変わり

▼撮影時期 昭和20年代から50年代までに撮影した写真

▼応募方法 カラーまたは、白黒の写真を6月30日までに新潟県企画課へお送りください。サイズは自由。写真の裏に住居、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号、写真の題名、写真の説明、撮影場所、撮影月日を記入した応募票を写真の裏面に貼付してください。

なお、応募写真は返却しません

▼主催者 新潟県、新潟市、長岡市、上越市、新潟日報社

◎応募・問い合わせは、〒950170 新潟市新光町4-1-1 新潟県企画課 ☎025128515511 内線5357へ。

## 三島郡中部森林組合が 広域合併

かねてから合併が懸案となっており、三島郡中部森林組合と長岡市森林組合、越路町森林組合の三組合の広域合併予備調印式が1月18日、関係市町村長、森林組合関係者約100人が出席し、パストラル長岡で行われました。

2月20日、3組合は各会場で同時に臨時(合併)総会を開催し、組合員承認のもと、6月1日より、「長岡地域森林組合」となりました。

組合員4,260名、森林保有面積6,800ヘクタールの県下第3位の大規模組合が誕生しました。

今後の森林組合事業に益々のご理解と協力をお願い申し上げます。

長岡地域森林組合長 土田重司(長岡)

副組合長 重野正弘(越路)

専務理事 田中繁(中部)

## 俳句

新緑にまみれてこたま戻りけり 棚橋比呂志  
藤色にベンチ翳りて藤垂れり 大滝 著  
春惜しむ削減りして鏗節 遠藤 枯骨  
卯の花や小さき庭の分譲地 小林 守門  
楳林緑湧きたつ音のしほ 桜井 草子  
たんぼの親ばなれせし絮の行方 遠藤 カズ  
万緑や枯松ばかり目立ちたる 名塚 清一  
しづかなる歩や花人となりてより 原 游子  
新緑の香りを乗せてバスハイク 結城 老松  
葉桜や樹下に緑の陰つくり 小林 柊子  
眠られぬ夜半は蛙の声とるて 難波 千代女  
五月雨を避けし大樹の大傘 安達 南風  
草餅の白のまはりに子ら並び 中村 遊雲  
太鼓の音若葉にひびく小木の森 木戸 忠津  
消ゆる火の一時 明るさ増す如く 田口 俊夫  
みどり盡さけり命燃やして